

行政評価シート(事後評価)

コード 9-2-5	事務事業名 クラブ活動事業	所管部課 教育部学校運営課
--------------	------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	各種クラブ活動での経験を通じて、各種大会の参加、実績を築きあげることで、人間形成の向上を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	小学校は、年間予算額を各校(19校)に学級数に応じて按分担当している。 中学校は、年間予算額を各校(9校)に一律担当している。今後は、各種大会での功績等を考慮した担当方法を検討する必要がある。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)		11,898	11,401	11,563	12,502
	財源: 国庫支出金・都支出金	千円				0
	財源: 地方債					0
	財源: 内: その他 ( )					0
	財源: 認識: 一般財源		11,898	11,401	11,563	12,502
	所要人員(B)	人	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	82	82	82	82
	臨時職員等賃金(C')	千円	0	0	0	0
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	11,980	11,483	11,645	12,584
	単位当たりコスト (E)=(D)/(小・中学校数)	千円	428	410	416	449

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	小・中学校数	実績値	校	28	28	28	28
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 全校に予算配分している。						
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一次 中学校部活動加入率	目標値	%				
		実績値	%	-	85	82	82
	二次	目標値					
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 中学校部活動加入率 = 中学校9校における部活動加入者数/生徒数 * 複数部活動への加入者については重複算入 なお、中学校9校の部活動数は、平成17年度は不明、平成18年度は118部、平成19年度は130部、平成20年度は126部である。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	今後、他市の実施状況を把握する。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	豊かな人格の形成を目的とした、類似した事業が他にあるため、目的によっては、人間形成、公共の利益になる有効性の高い物に絞る必要がある。

コード 9-2-5	事務事業名 クラブ活動事業	所管部課 教育部学校運営課
--------------	------------------	------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>小学校については、授業の一環として年に45分単位で16回程度取り入れている。そのため、教育振興費の予算と重複している要素があり、予算を組む必要性があるのか検討する必要がある。</p> <p>中学校については、各種大会での功績や実績を考慮し、今後は財政等の状況を鑑みながら、配当方法を検討をしていく。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一次評価でも指摘があるとおり、小学校のクラブ活動は授業の一環として行われており、クラブ活動事業費と教育振興費との重複が考えられることから、クラブ活動に関する学校予算のあり方を見直す必要がある。</p> <p>また、中学校については、一律配当方式から、クラブ数や参加生徒数、活動実績等を勘案した配当も検討すべきである。</p>
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>小学校のクラブ活動は授業の一環として実施されるものであるが、クラブ活動事業費は教科用品購入のための教育振興費と重複する部分があると考えられるため、より効率的な予算のあり方について検討する必要がある。また、中学校については、より効果的な事業となるよう、従来の一律配当方式から、クラブ数や参加生徒数、活動実績等を勘案した配当方式への変更について検討された。</p>